

平成18年3月
第12号

自治連だより

発行 八千代市自治会連合会
代表者 中原 美明
事務所 八千代市大和田新田312-5
八千代市役所生活安全課内
047(483)1151(代)

各地で市政懇談会を実施

市長並びに市役所幹部を招いて質疑応答

平成17年9月28日の阿蘇地区を皮切りに、市内7地区で市政懇談会が開かれ、本年2月25日の村上地区にて終了しました。市長・市役所幹部を招き、日ごろ疑問に思っていることや要望したいことを、直接伝えることができる機会とあって、各地区とも多くの参加者の活発な議論で賑わいました。

阿蘇地区 17年9月28日 米本南自治会館

以下、各地区で出された質問の概要です。

- ① 阿蘇地区に対する八千代市としての「地区施策」
- ② 路上での不法駐車対策と放置自転車対策
- ③ ゴミの不法投棄対策
- ④ 小学校の余裕教室の開放について
- ⑤ 高齢者に対する「生きがい対策」や「生涯学習」に対する援助政策



▲10月16日、勝田台会館で行われた勝田台地区の市政懇談会。中央は中原自治連会長

- (ア) 大型車通行止め
- (イ) または、一方通行について佐藤時男様宅へ向って三又路を16号方向
- (ウ) その他
- (エ) 陸中学校校舎屋上からの、コンクリート破片の落下
- (イ) 陸スポーツ広場のトイレ改修のお願いについて
- (ウ) 今年度よりの補助金の削減(防犯灯)
- (エ) 子宮ガン検診の変更(2年毎に変更)

睦地区 17年10月8日 ふれあいむつみ

- ① スクールバス運行(大学町より睦中経由睦小まで)
- ② ぐるっと号のコース変更(循環バス)
- ③ ふれあいむつみの建て替え
- ④ 印西線の延長
- ⑤ 道路拡張



▲10月8日、ふれあい睦で行われた睦地区の市政懇談会。左は熱田・自治連副会長

勝田台地区 17年10月16日 勝田台会館

- ① 勝田台地区駅周辺の生活環境の改善(不法駐輪・駐車、客引、徘徊者の取り締まりなど)
- ② 災害に備える八千代市の対応(食料の備蓄、防災機材の準備及び連絡・安全の確保など)
- ③ コミュニティ道路の早期改修
- ④ 交番前交差点をスクランブル方式に変更する件

裏面に続く

八千代医療センター、本年12月に開院

(市総合医療センター推進室)

多くの市民の要望であった中核病院が、「東京女子医科大学附属八千代医療センター」として、本年12月に開院します。八千代医療センターは、八千代市が誘致し、東京女子医科大学が建設、運営するものです。施設の建設工事は、昨年3月に始まり、今では躯体工事が終わり、内部の区画壁や駐車場工事へと進んでいます。今後は外溝工事も並行して行い、9月末には竣工の予定です。そして、10月からは医療機器の設置や設備試運転、職員のトレーニングなどを行い、12月の開院に備えます。

なお、開院当初は安全な医療を確保するために、救急医療や小児医療、出産前後の周産期医療などを中心とし、受け入れ病床数を徐々に拡大していく予定です。

これにより、救急医療や入院医療、高度医療など、市外の医療機関に多くを頼ってきた八千代市の医療課題が大きく改善され、健康で安心して暮らせるまちへと前進します。

それでは、八千代医療センターの主な特徴をご紹介します。

- ① 今まで入院を必要としていた治療を外来で可能にするため、外来棟と入院棟を分離し、外来機能を強化します。
- ② 地域に開かれた病院を目指します。(市民が利用できる「からだ情報館」や公開緑地、レストラン、健康講座等の開催など)
- ③ 昼夜交代制の救急専門医、総合診療医を配置し、24時間・365日の救急医療を行います。
- ④ 地域小児科医が参加する「夜間小児急病センター」を設ける他、24時間、切れ間のない小児救急医療を行います。
- ⑤ リスクの高い妊婦や高度な新生児医療などを行う「総合周産期母子医療センター」と「小児のHCU(重症治療病室)」を設置します。
- ⑥ 多くの専門医を含む約120人の医師と約350人の看護師などを配置します。
- ⑦ その他(・災害に強い構造と設備を有します。・医療事故の防止を目的とした医療安全管理委員会、病院運営に医療関係者や市民の声を反映させる運営協議会を設置します。・IT化と医療連携を推進します。)



▲左下が駐車場、中央は外来棟、奥は入院棟

**高津・緑が丘地区
17年10月30日
緑が丘自治会連合会館**

◀10月30日、緑が丘自治会連合会館で行われた高津・緑が丘地区の市政懇談会の様子

- ① 市の財政見直し
- ② 八千代市医療センターについて
- ③ 環境保全について
- ④ 高齢者・身障者対策
- ⑤ 道路、交通について
- ⑥ 防犯・防災・治安に対する市の取り組み及び地震等災害時に対する市の取り組み方について

**八千代台地区
17年11月7日
八千代台自治会館**

- ① 八千代台駅東口に交番を設置するよう取り計らっていただきたい。



- ② 八千代台東口の整備
 - (ア) バス降車場の確保
 - (イ) タクシー駐車場

総会の場所が変わります

5/17

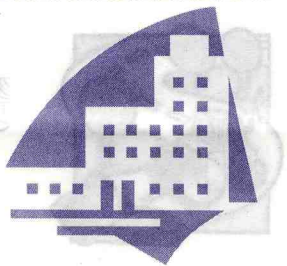
JA八千代(農業研修センター隣)

今年度の自治会連合会及び防犯組合連合会の総会は、会場の都合上、5月17日(水)、JA八千代の会議室で行う予定です。ご注意ください。

- キングエリアの設置を要望。
- ⑥ 八千代台駅西口の駐車場が不足しているので増設をお願いしたい。なお駅近くの八千代台第3公園の利用も考慮されたい。
- ⑦ 八千代台南市民の森の狭い方の入り口の整備。

**大和田地区
17年12月24日
大和田新田下区公堂**

- ① 地球温暖化対策の八千代市の取り組みについて
- ② 空き交番対策
- ③ 国道296号線の歩道が狭くて、凸凹あり、改善の見通しについて
- ④ AED/A自動体外式除細動器Vの公共施設への設置及び普及について(16年7月より一般市民の取扱いが可能になり愛知万博でも活躍)
- ⑤ 大震災発生時における、八千代市と自治会との連携及び指令系統
- ⑥ 萱田分離小学校(生涯学習センター)の広域避難場所への指定を要望
- ⑦ 大和田駅周辺の区画整理事業の完成時期について



- ⑧ 八千代市総合医療センター関連
 - (ア) 病院敷地内の駐車場不足が見込まれるがその対策は
 - (イ) 病院周辺の道路整備計画
 - (ウ) 医療センター周辺の東葉高速側道改善及び階段のスロープ化の見通し(例えば高架下の有効利用)

**村上地区
18年2月25日
ふれあいプラザ**

- ① 川崎重工敷地内ひ素・フツ素の調査
- ② 勝田台駅北口商店会の電線地中化
- ③ 上高野原児童公園からバス通りの両側に側溝設置の要望
- ④ ゴミの出し方についての指導
- ⑤ 新川沿いに公園の設置について
- ⑥ 都市計画の今後について

危機管理について考える

佐々淳行氏を招いて講演会を開催

平成18年1月30日(月)、八千代市自治会連合会は初めての事業として、「講演会」を実施しました。これは、平成17年度事業として計画されたもので、「元内閣安全保障室長で「危機管理」の名付け親として著名な政治評論家「佐々淳行」氏を講師に招聘して、「地方自治体における危機管理」非常時にいかに対応するか」をテーマに講演依頼をいたしました。当初、自治会連合会単独での開催を計画しておりましたが、今回のテーマの内容から当連合会だけでなく、八千代市防犯組合連合会、八千代市部長会・課長会との共催の形で実施しました。各方面で危機管理の重要性が再認識されている折、「安

心・安全」な街づくりを目指し、私たちの生活の中でどのように対応していくべきなのか、地域自治の主役である私達が、危機に對しどう対処すべきなのか、佐々氏の体験で得た貴重なお話、また阪神大震災等の教訓を基にした具体的且つ熱のこもった約90分間の講演でした。

会場の市民会館小ホールには、自治会長、防犯指導員、自主防災組織、市役所部長会・課長会、教育委員会、自主防災組織、青少年協及び警察、消防等ライオン関係者総数

三百数十人が参加し熱心に聞き入っており大変有意義な催しでした。今後、このような講演会事業を企画し市民組織活動推進に大いに役立てたいと考えております。

編集後記

近來、地震・豪雪等の天災に加え、幼児誘拐、放火、振り込め詐欺、車上荒らし等々の凶悪犯罪が多発し、防災・防犯の重要性がいよいよ痛感されます。

その意味では一月三十日の佐々氏の講演会は、内容・タイミングともに大変有意義なものでした。当然のことながら、防災・防犯というテーマは今後の自治会活動の大きな柱となるでしょう。

翻って、八千代市における自治会加入率は全世帯の約三分の二で、三分の一が未加入だということです。地域ぐるみの防災・防犯活動の推進が、やがては加入率の向上につながるかもしれません。

(編集委員・森)



自治体における危機管理

事態にいかに対応するかー 講師 佐々淳行氏



▲テレビ等でもお馴染みの佐々淳行氏